

地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、「糸島市の地元事業者と連携した地域ブランドの確立に向けた取組み」
「篠栗町・地域の事業者と連携した観光コンテンツ造成・6次化商品開発支援の取組み」
についてご紹介いたします。



糸島の食「糸島ブランド」の認知拡大による経済活性化・観光振興

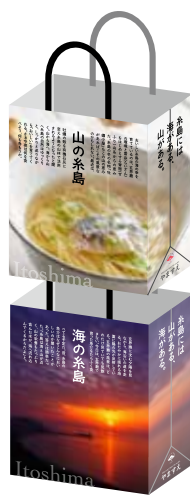
福岡県西部にある糸島市は、北側に広がる美しい玄界灘と南側の豊かな背振山系に囲まれた自然溢れる地域です。古代から「伊都国^{いとこく}」と呼ばれていたこの地は、深い歴史を持つことでも知られています。現在では、その美しい自然環境と四季折々の美味しい食べ物、そしてお洒落なカフェなどが人気で、一年中多くの観光客が訪れています。また、「糸島ブランド」として知られる新鮮な食材は、農産物から海産物、伝統的な製法で作られた醤油やお酒まで、幅広く揃っています。

多くの観光客が訪れ、食文化も豊かな糸島市ですが、現在は観光スポットが一部に集中しており、スポットの分散化が図れていないため、市内の回遊性が低く、地域全体への経済効果が十分に得られていない状況です。また、「糸島ブランド」である糸島の食に関する観光資源が、一部のカフェなど限定的であり、観光客から高く認知される地元産品を使った人気のお土産もまだ十分に揃っていないことから、糸島市では、「糸島ブランド」の認知拡大に向けた施策を進めています。

その取組みの一環として、「糸島ブランド」の価値を高め、地域全体の経済活性化を図るべく、観光庁の「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（※）」を活用し、「フードツーリズムの造成」と「お土産品開発」



糸島マップ



鯛ラーメンの手提げ袋



糸島鯛だしねぎ油ラーメン

を実施しました。本事業において、F F Gでは、事業全体の取りまとめや遂行のサポート、またiBankマーケティングと連携し、お土産品の開発支援を行いました。

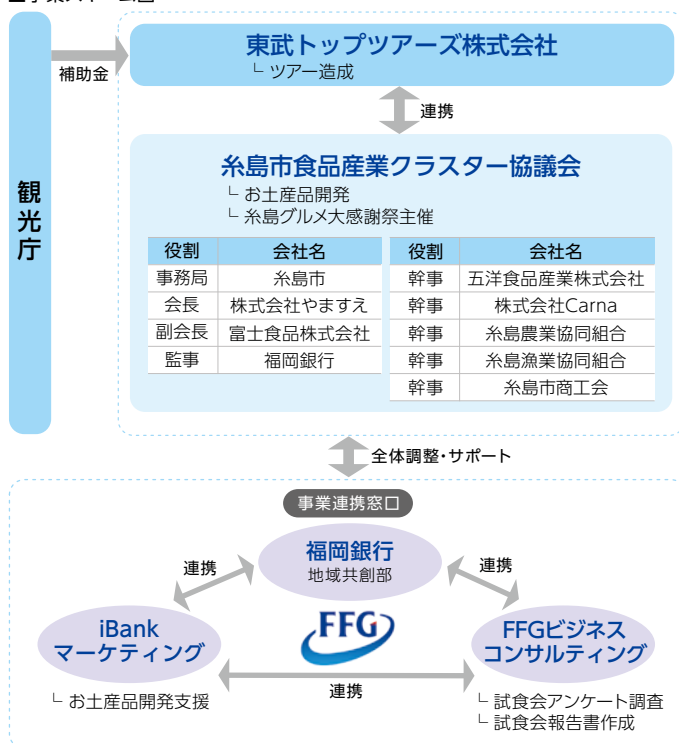
このお土産品開発では、日本一の漁獲量を誇る糸島産の天然真鯛を使った「糸島鯛だしねぎ油ラーメン」を開発しました。本商品は、糸島市内の食品関連事業者で構成される糸島市食品産業クラスター協議会（以下、「協議会」）の参画事業者が共同で開発したものです。手提げ袋には、糸島の美しい風景を写真で掲載し、さらに同梱物として、協議会会長を務める株式会社やますえの馬場社長が推奨する観光スポットを紹介する糸島マップを制作し、糸島らしさを感じる商品が完成しました。本商品は、協議会が主催する工場直売イベント「糸島グルメ大感謝祭」でお披露目され、多くの観光客の方に購入いただき、本商品を通して、観光客に糸島市の食材や食文化に触れる機会を創出することができました。

また、フードツーリズムの造成では、糸島の食を生み出した自然や食文化を体感できるスポットを周遊するモニターツアーを実施しました。今後、モニターツアー参加者へのアンケート調査を踏まえ、地域の事業者と連携しながら魅力的なツアーの販売を目指していく予定です。本事業をきっかけに、

「糸島ブランド」がさらに強化され、長期的な観光客増加や地域振興に繋がることを期待しています。今後もF F Gは、お取引先の業績に貢献する取組み（本業支援）や、地域の課題解決・活性化に繋がる取組みを行ってまいります。

※インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
観光庁の公募事業。本格的な再開が見込まれるインバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、観光事業者が連携してインバウンド向けに地域に根差した観光資源を磨き上げる取組みの支援を目的としている。

■事業スキーム図



福岡銀行 地域共創部 鶴原
【お問い合わせ】 092-723-2254



モニターツアーの様子



グルメ大感謝祭の様子

篠栗町”心の癒し”を体験できる観光資源活用の実現へ

篠栗町は、県内中心部の粕屋地区に位置し、福岡県最多の6つの森林セラピーロードを有し、篠栗四国八十八ヶ所霊場をはじめとした自然を活かした観光資源が多く点在する地域です。また、車であれば都市高速道路を利用して市内まで20分、町の東西を走るJR篠栗線(福北ゆたか線)の快速を利用すれば博多駅まで15分と優れたアクセス環境を有しています。

そんな篠栗町では、観光のポテンシャルは高い一方で、それを活かす有効なコンテンツが不足していること・篠栗町を想起させる産品不足が課題として挙げられていました。そこで今回は篠栗町と連携し、観光庁の「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」に篠栗町を申請主体として応募・採択され、その補助金を活用した観光コンテンツの造成・名産品企画開発支援を実施しました。ツアー造成においては、株式会社VISIT九州と連携し、名産品企画開発支援においては、FFGグループであるTAPと連携

し、支援を行いました。

観光コンテンツ造成では、“心も旅するささぐりまち”をコンセプトに、外国人のモニター6名を招聘し、篠栗町の観光資源を活用した「心の癒し」を体験するモニターツアーを開催しました。モニターツアーでは、「森林セラピー」「お遍路巡り」「瞑想体験」を実施。インバウンド観光客受け入れのため、外国人にも文化背景やコンテンツの魅力が伝わるよう多言語化対応を行ったツアーを造成しました。また、ランチでは、篠栗町で、新しい食メニュー開発の取組みをしている事業者「栄屋」にて地元の農産物を使用し、真言宗・密教の曼荼羅をモチーフにした御膳を提供。当日のモニターツアーの様子はインフルエンサーを招聘し動画撮影を行っており、今後篠栗町観光協会のホームページや篠栗北地区産業団地内にある「Yamaya Factory Terrace(※1)」にてツアーの魅力を発信する予定です。

名産品企画開発支援では、篠栗町がブランド化を進めているさつま芋「くりこがね」を使用した商品開発支援を行いました。くりこがねは「幻の芋」と呼ばれるほど全国的に生産量が少なく、糖度が高いことが特徴のさつま芋です。芋を使用した商品を開発する際、「皮をむき、芋を潰す作業に手間がかかるため、商品化のハードルが高くなっている。すぐに使えるペーストがあれば、商品化しやすくなる」と



曼荼羅をモチーフにした御膳



森林セラピー



お遍路体験の様子

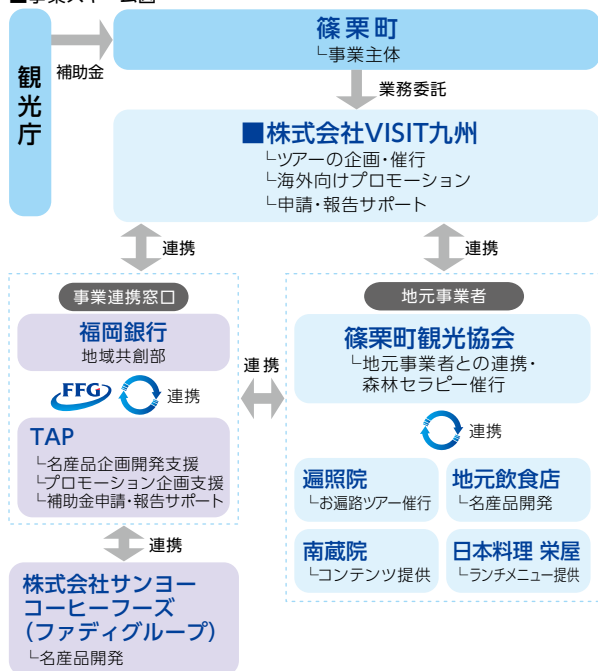


完成した試作品



試食会の様子

■事業スキーム図



福岡銀行地域共創部左から山下、小山
【お問い合わせ】092-723-2254

いう地域事業者の声から、くりこがねの焼き芋ペーストを開発。篠栗町で飲食店を展開している地元事業者4社と連携し、くりこがねの焼き芋ペーストを使用した4商品を試作しました。株式会社サンヨーコーヒーフーズ(※2)では、くりこがねの芋を使用し、たおやきを試作品として開発しました。糖度の高いくりこがねを使用することで、素材そのものの甘みを活かせる商品化が出来ると考え、試作品開発に賛同いただきました。試作品を開発いただいた後、フードアナリストなどを招聘した試食会を実施。アンケートの結果をもとに、今後各事業者が改良を行い、篠栗町の新名物を作り上げる予定です。

ツアーへの参加はこちら

是非ともご参加いただき、篠栗町の自然を堪能してみたいかがでしょうか。



※1 Yamaya Factory Terrace... 篠栗北地区産業団地内にある、やまやの工場見学・レストラン・各種体験イベントなどめんたいこをを楽しむ体感型施設。施設内のサインネーじにて、篠栗町の魅力を発信している。

※2 株式会社サンヨーコーヒーフーズ... 極東ファディ株式会社のグループ会社であり、業務用食品の卸売やカフェの運営を行う。極東ファディグループでは、篠栗北地区産業団地内にある、「篠栗珈琲焙煎所」を運営。

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254